

公表	児童発達支援事業所における自己評価結果
----	---------------------

事業所名	蒲生四丁目にここツリーハウス					公表日 2025年2月28日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動内容により屋内・屋外など活動場所を工夫している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		適切に配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		利用児導線を広く確保し、環境整備している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		活動後の療育室内の清掃、空気清浄機の設置、使用した玩具や療育グッズの消毒実施。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		衝立等を使用し、療育室内で区分けしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		日々、職員間での会議や話し合いの時間を確保し情報共有を行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			ご意見を基に今後、行事など企画、開催していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的に会議を実施。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		必要に応じて検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		職員が研修を受けやすい制度を設けている。	計画を立て、全員が研修を受けられるようにしていく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページに公表している。	利用児の状況・ニーズに合わせ見直しを行っていく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		利用児・保護者のニーズに合わせ、職員で話し合い作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		担当者会議を実施。様々な目線で支援計画を立てている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個々の課題やニーズを明確にし、支援にあたっている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		保育所保育指針などを参考にしながら、利用児の成長に合わせ計画している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		利用児のニーズを明確にして、優先順位をつけ、支援している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		プログラム内容は利用児に発達に合わせ構成している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		季節を感じられる内容や目標を設定し工夫している。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		利用児の発達に合わせた個別・集団の活動内容を実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼の際に1日のスケジュールや注意点など職員間で共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		朝礼時や療育終了後に気付いた点など情報共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日誌等を活用し、振り返り・課題など記録として残している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを行い、ニーズの確認や利用児の変化も保護者と共有している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		必要に応じて、担当者が出席。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		関係機関との連携は、保護者の協力を得ながら訪問等で行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		通所園への訪問することで、情報共有・利用児への最適な支援へ繋げられるようにしている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			今後連携が行えるように、関係を作っていく。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○			周辺の園や利用児の通所園との交流が出来るようにしていく。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			提供記録への記載や、送迎時直接お伝えしている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			保護者の声や意見など、聞き取りを行い助言など行っている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			利用契約時に、読み合わせを行っている。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			保護者の思いをしっかりと受け止めるために、余裕を持ったアセスメント・モニタリングの時間を作っている。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			保護者のニーズに沿った計画になっているか確認するために内容の説明は十分に行っている。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			送迎時や電話、来所など必要に応じて保護者との時間を確保している

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		今後、保護者同士が繋がる行事やイベントの開催を計画的に実施していく。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		可能な範囲で迅速に対応している。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		日々の活動内容の発信と合わせ、SNSやHPなどでも情報発信している。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		取り扱いルールの周知と共に、定期的に注意喚起をしている。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		伝わりやすい言葉でお伝えしている。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		検討中。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		職員対象のマニュアルテストの実施。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		毎月様々な想定での避難訓練の実施。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		利用前にフェイスシートを使用し、聞き取りの実施。必要に応じて保護者への聞き取りを行っている。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		医師の診断書の提示してもらおう対応の実施。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		社内研修でAEDの使用方法などの研修を行っている。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		施設入り口に資料の設置をしている。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		発生時案の職員間での共有、再発防止策を講じている。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		社内に虐待防止委員会の設置。研修などにも参加している。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		保護者への十分な説明を行っている。	

公表 保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名 蒲生四丁目こここツリーハウス

公表日 2025年 2月 28日

利用児童数 14名

対象14名 回収11名
回収数 78・6%

	アンケート項目	回答				ご意見	
		はい	どちらとも	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11				子どもたちが快適に過ごせるよう日々清潔を保っています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10			1	配置基準を守って配置しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9		1	1	子どもたちが使用する導線には物は置かず、広い通路を確保しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10			1	活動内容に合わせて、室内・屋外を選択。療育終了後は部屋の清掃、使用した療育グッズの消毒の実施。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等にに応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10			1	1人ひとりに寄り添い、無理をさせず活動に参加してもらっています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11				公表している内容を確実に療育として提供しています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11				支援計画の内容は家族からのニーズに沿って作成し、内容の確認を行っています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10			1	支援計画の中に個別に記載しています。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10			1	職員間で支援計画内容を共有することで支援計画に沿った支援が行えるようにしています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11				活動内容がマンネリ化しないよう実施方法や内容を適時更新しています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4		3	4	自分の子に合った幼稚園や保育園、療育園などが地域にあるかわからないので、情報共有を含め交流や見学会など、今後やっていただきたいな、と思っている。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11				利用契約時に事業所から保護者へ口頭での説明を行っています。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11				初回は利用契約の前に、支援計画を提示しながら、2回目以降も同様、事業所から保護者へ口頭での説明を行っています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10			1	日々要望があれば時間を確保し、保護者との面談などを実施している。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	11				お迎えの際や送迎時に直接お伝えする事に合わせてサービス提供記録に細かな様子をお伝えしている。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10			1	事業所からも適時、保護者との面談のお願いや要望時応じて話し合いの場を設定している。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11				今後も継続して利用児・保護者に寄り添っていけるように励んでまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4		5	2	今は保護者同士グループラインを使ったり、個々にやり取りをして交流していますが、来所するタイミングがバラバラで全員で集まれないので、保護者会などイベントがあれば嬉しいなと
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9			2	申し入れがあった場合は、可能な限り迅速に対応できるように職員間で共有しています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10			1	思ったことが言える・聞ける雰囲気づくりを継続していきます。

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11					日々の様子や行事のお知らせなど計画に沿って実行している。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9			2		個人情報の取り扱いについては定期的に職員間で確認を行っています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9		1	1		年4回のマニュアルテストの実施。緊急時の対応、シミュレーションを行っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11					毎月様々な想定避難訓練の実施。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11					訓練実施後のフィードバックや内容の共有を保護者に行っている。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11					事故が発生した際の連絡手順など職員間で共有し、有事に備えています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11					楽しく通っていただける、安心して通わせられる事業所でありたいと思います。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11					子どもたちの「居場所」の提供を日々心掛けています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10			1	いつも本当にお世話になっています。今後ともよろしく願います。	利用児・保護者のニーズに答えいき、1人でも多くの笑顔を創りだしていきます。

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	蒲生四丁目にここツリーハウス		
○保護者評価実施期間	2025年1月14日		2025年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	2025年2月3日		2025年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月15日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	在籍職員は保育士・社会福祉士・児童指導員等の資格所保有	利用児・保護者が感じている困り事や課題をしっかりと受け止め、情報を職員で共有し1人ひとりに合わせた療育の提供	利用児の在籍する園との情報共有や連携、保護者との関係を深め利用児により良い支援が行えるようにしていく。
2	多方面の職歴を活かした、多角的な目線で利用児への療育アプローチ	個々の得意を引き出し、スモールステップで利用児のペースに合わせ苦手分野の活動も楽しみながら取り組めるようにしている。	日々変わる課題やニーズに速やかに対応できる、柔軟な発想と関係者との密な連携を続けていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との繋がり、保護者同士が繋がる場の設定	開所もないため、地域等繋がりがまだ構築出来ていない。	利用児のみならず保護者や地域の方も巻き込んだ、参加型の行事の開催を計画し実行する。
2	保護者同士が繋がるイベントの開催		年間計画を立て周知し、参加して頂けるように複数回実施していく。
3			

公表	放課後等デイサービス事業所における自己評価結果
----	-------------------------

事業所名	蒲生四丁目にこにこツリーハウス		公表日 2025年2月28日
------	-----------------	--	----------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。		○		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○				
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○				

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名		公表日		回収数			
蒲生四丁目こにこツリーハウス		2025年2月28日		1名	1名 100%		
		利用児童数		回収数			
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	○				活動に合わせた環境整備を行っている。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	○				配置基準を守って配置しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	○				子どもたちの特性に合わせて過しやすいように環境を整えています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	○				活動内容に合わせて、室内・屋外を選択している。療育終了後は部屋の掃除、使用したグッズの消毒を行っています
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	○				1人ほとりの発達に寄り添い、無理をさせず活動に参加してもらっています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	○				公表している内容を確実に療育として提供しています。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	○				支援計画の内容は家族からのニーズに沿って作成し、内容の確認を行っています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	○				支援計画の中に個別に記載しています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	○				職員間で内容を共有することで支援計画に沿った支援が行えるようにしている。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	○				活動内容がマンネリ化しないように実施方法や内容を適時更新しています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。				○	今後、実施できるように計画していきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	○				利用契約時に事業所から保護者へ口頭での説明を行っています。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	○				初回は利用契約の前に、2回目以降も支援計画を提示しながら口頭での説明を行っています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	○				保護者からの要望があれば時間を確保し、相談や面談を実施している。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	○				提供記録やチャット、必要に応じて電話や訪問で情報の共有を行っています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	○				必要に応じた支援を実施しています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	○				利用者に寄り添う姿勢を継続していきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	○				今後、実施できるように計画していきます。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	○				申し入れがあった場合、可能な限り迅速に対応できるように職員間で共有しています。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	○				思ったことが言える、聞ける雰囲気づくりを継続していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	○				日々の様子や情事のお知らせなど計画に沿って実行しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	○				個人情報の取り扱いについては定期的に職員間で確認を行うようにしています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	○				年4回のマニュアルテストの実施。緊急時の対応シミュレーション行っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	○				毎月様々な想定避難訓練の実施。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	○				訓練実施後のフィードバックや内容の共有を保護者に行っている。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	○				事故が発生した際の連絡手順など職員間で共有し有事に備えています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	○				楽しく安心して通っていただける事業所でありたいと思います。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	○				子どもたちの「居場所」の提供を日々心掛けています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	○				利用児・保護者のニーズに答えていき、1人でも多くの笑顔を創りだしていきます

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	蒲生四丁目にこここツリーハウス		
○保護者評価実施期間	2025年1月14日		～ 2025年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数) 1名
○従業者評価実施期間	2025年2月3日		～ 2025年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月15日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	在籍職員は保育士・社会福祉士・児童指導員等の資格所保有	利用児・保護者が感じている困り事や課題をしっかりと受け止め、情報を職員で共有し1人ひとりに合わせた療育の提供	利用児の在籍する学校との情報共有や連携、保護者との関係を深め利用児により良い支援が行えるようにしていく。
2	多方面の職歴を活かした、多角的な目線で利用児への療育アプローチ	個々の得意を引き出し、スモールステップで利用児のペースに合わせ苦手分野の活動も楽しみながら取り組めるようにしている。	日々変わる課題やニーズに速やかに対応できる、柔軟な発想と関係者との密な連携を続けていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との繋がり、保護者同士が繋がる場の設定	開所もないため、地域等繋がりがまだ構築出来ていない。	利用児のみならず保護者や地域の方も巻き込んだ、参加型の行事の開催を計画し実行する。
2	保護者同士が繋がるイベントの開催		年間計画を立て周知し、参加して頂けるように複数回実施していく。
3			